



● ● ● ● ● ● ● 安全装備品と消防団活動 ● ● ● ● ● ● ●

栃木県上都賀郡西方町消防団

1 はじめに

西方町は、栃木県の南西部に位置し、東は思川（おもいがわ）を挟んで壬生町、西、南は栃木市、北は鹿沼市に接しています。

人口は6,719人（平成23年2月現在）、面積は32.00km²で東西10.6km、南北6.6kmのほぼ長方形をなし、総面積の54%が山岳地帯となっております。

町のほぼ中央を南北に伸びる山並みがあり、その西側は山間地帯で農業を中心とした集落が形成されており、東側は耕地が開かれ農業・工



金崎の桜

業・商業などを中心とした集落が点在して形成されています。江戸時代には「西方五千石」といわれた米作地帯で知られ、現在でも「桜おとめ」のブランドを冠する優良米の産地であるとともにいちごやニラは県内でも有数の生産地となっています。

本町の中心街である金崎地区は、かつては日光例幣使街道（にっこうれいへいしかいどう）の宿場町として知られ、主に商業を中心として栄えてきた集落で、思川の堤には昭和天皇のご成婚を記念して青年団の手により植樹され、栃木県景勝百選にも選ばれている桜並木があり、「金崎の桜」として親しまれ、シーズンには多くの花見客で賑わいます。

2 西方町消防団の紹介

西方町消防団は、明治27年1月に組織された消防組から始まり、警防団等改称しながら昭和23年消防組織法の施行により消防団と改められました。昭和の大合併時に消防団も統合され、1消防団、7分団、団員500名となり西方村消防団が組織されました。

その後、平成6年10月1日に町制施行がなされ、現在は1本部4分団制で運営され、指揮車1台、ポンプ車2台、小型動力ポンプ付積載車5台、小型動力ポンプ付軽車両1台を配備し、



平成22年4月1日現在で団員総数102名、平均年齢32歳と機動力のある消防団となっており、本年10月1日には隣接する栃木市との市町村合併により栃木市消防団西方方面隊となります。

西方町消防団の活動内容は、夏季点検と通常点検を主に、機関員講習や幹部訓練、模擬火災訓練等を実施しております。

また、ポンプ操法については、過去に出場した栃木県大会ではいずれも3位以上に入賞するなど伝統的な操法技術を誇っておりましたが、自らのポンプ操法技術を見直し、ポンプの基本的操作と規律ある動作を習得し現場での事故防止を図るため、今年度から町内において操法大会を実施しました。

3 安全装備品等助成を利用して

西方町消防団は、これまでシルバーのゴム

引きされた防火衣が各分団に配備されておりましたが、全団員までには至らず、火災現場において団員の安全確保が危惧されており、団員からも全団員分の配備を望む声がありました。

そのような状況の中、県の照会文書により、消防基金の安全装備品整備等助成事業を知り、県に事業交付額等の配分状況等を確認し申請に至りました。

当事業の活用により、防火帽（しころ付き）、防火衣、防火長靴、ケブラー手袋35着分の装備品を整備いたしました。特に防火衣につきましては、今後の更新も視野に入れ、難燃性が高く耐久性に優れたアラミド繊維製の防火衣を選択しました。

これら装備品の使用状況については、火災現場での使用はもちろんのこと、通常点検におけるポンプ操法の際には、火災現場での状況を想



防火衣一式



防火衣一式（背面）



防火衣を着用しての訓練

定し行うため、すべての装備品を着用の上実施をしております。

また、月2回行われている水利点検についてもケブラー手袋を利用することで、より安全に消火栓等の点検を実施することができるようになりました。

4 今後の安全への取り組みについて

今後は装備品の充実と同時にソフト面である団員の安全意識の高揚を図る必要があると感じています。そのためには、日頃の訓練から一つひとつの動作に安全意識を持って行動すること、定められた行動をとる際にも、全て自らの安全確保に直結してくるという認識をもつことが必要です。

また、当消防団は比較的年齢が若い団員が多



防火衣を着用して放水

いですが、日頃から消防団幹部や事務局が団員の健康状態を把握する必要性を認識し、災害現場や訓練に臨むことで公務災害を未然に防ぐことになります。

それらを確実に行うために、消防基金の消防団員公務災害防止研修事業である消防団員安全管理セミナー、S-KYT研修、消防団員健康セミナーを受講するなど、団員の安全意識の高揚を図り、自らが考えて安全な行動をとることで、事故のない消防団を目指して行きたいと考えています。

これらの活動が、西方町消防団員にとって一層意義のあるものとなり、ひいてはそれが「魅力ある消防団づくり」につながり団員不足の解消となるよう、消防団のより良い活動環境作りに取り組んでいきたいと思います。